

新人看護職の約6割が新型コロナウイルス感染拡大により困ったことがあると回答しており、2年目に向けてのフォローや交流の場を希望している。

調査の概要

調査目的	新人看護職の現状を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県看護協会会員施設(585施設)の新人看護職員 県内の全訪問看護ステーション(542施設)の新人看護職員
調査時期	令和4年9月16日～令和4年9月30日
調査方法	千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査。 千葉県看護協会会員施設の看護管理者宛に、調査依頼を郵送し、新人看護職員に配布の依頼をした。
回収状況	回収数：857名

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 性別は、「女性」が92.5%、「男性」が7.5%であった。
- 社会人経験については、「ある」が19.0%「ない」が81.0%であった。
- 養成所の所在地は、「県内」71.9%「県外」28.1%で、卒業学校等は「看護学校」が最も多く53.9%、次いで「大学」41.9%の順であった。
- 職種は、「看護師」が最も多く94.0%、次いで「保健師」が2.2%、「助産師」・「准看護師」が1.9%であった。
- 就業施設の所在地は、「千葉市」が最も多く160人、次いで「松戸市」86人、「船橋市」82人の順であった。就業施設は、「病院」が96.4%で、病院規模別では、「500床以上」36.5%、「300～399床」23.0%、「400～499床」16.0%の順であった。

表1 施設規模・施設等 (n=857)

病院						
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	病院合計
19	71	89	197	137	313	826
2.2%	8.3%	10.4%	23.0%	16.0%	36.5%	96.4%

無床診療所	有床診療所	市町村	健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他
1	1	13	5	10	0	0	1
0.1%	0.1%	1.5%	0.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.1%

2. 辞めたいと思ったことの有無

- 辞めたいと思ったことの有無は、「ある」599名(69.9%)「ない」258名(30.1%)で、前年度と比較しほぼ同率であった。

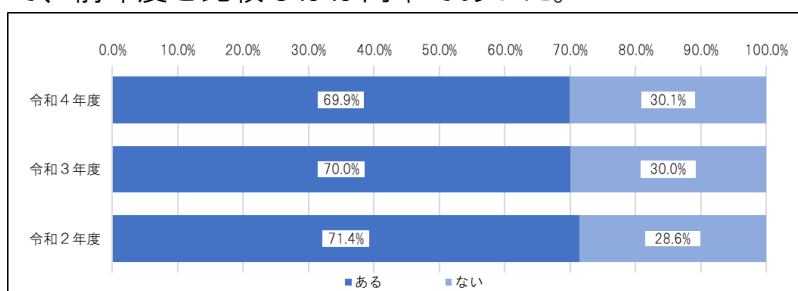


図1 辞めたいと思ったことの有無 (3年推移)

○辞めたいと考えた理由は、「自分は看護職にむいていないのではないかと思う」41.0%が最も多く、次いで「医療事故を起こさないか心配である」36.8%、「勤務時間内に仕事が終わらない」35.7%の順であった。

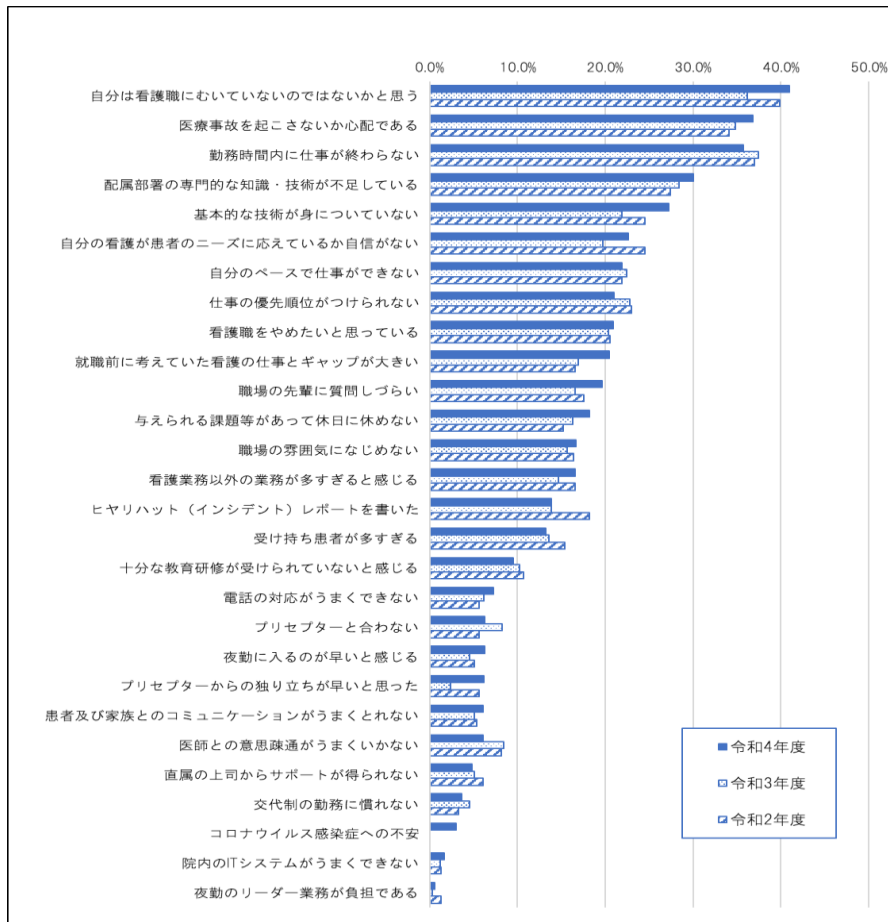


図2 辞めたいと考えた理由（3年推移）

○辞める事を思いとどまった理由は、「生活していくための手段」が最も多く40.5%、次いで「自分なりに整理がついた」19.1%、「同僚に相談し、再度やる気になった」14.1%の順であった。

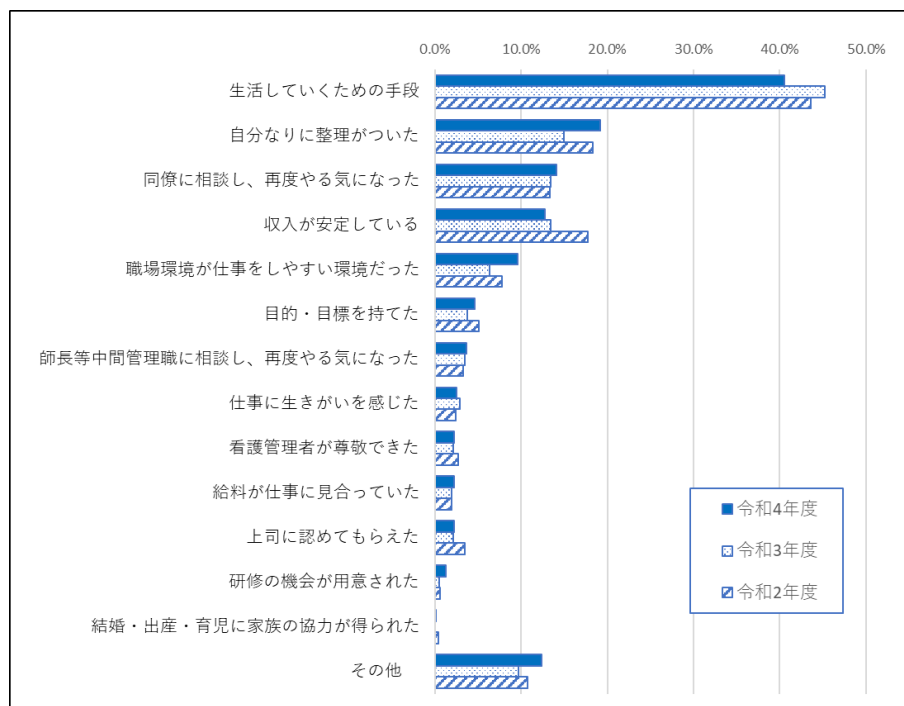


図3 辞めることを思いとどまった理由（3年推移）

3. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、困ったこと・苦勞していることの有無

○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、困ったこと・苦勞していることの有無は、「ある」60.1%、「ない」39.9%で、困ったこと・苦勞していることがあると思った理由（複数回答）は、「ストレス発散ができない」が最も多く41.3%、次いで「同僚との交流がない」37.3%、「感染がこわい」28.8%の順であった。

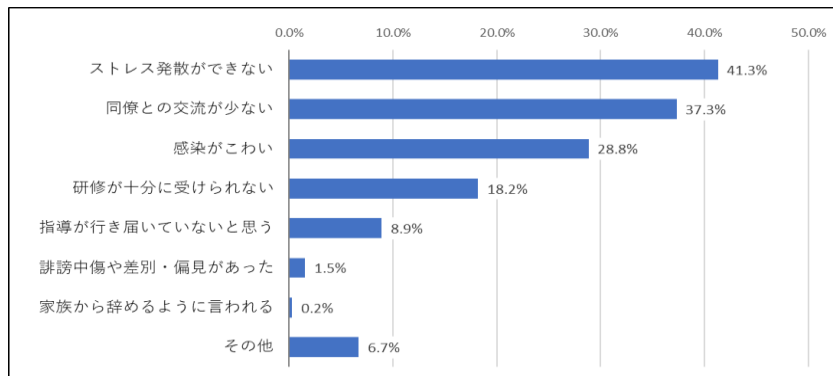


図4 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い苦勞困難している理由

4. 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること

○就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること（複数回答）は、「感染に対する知識・技術以外の技術等についてもっとフォローしてほしい」39.1%が最も多く、次いで「交流の場がほしい」が36.4%、「相談できるサポート体制を充実してほしい」32.8%の順であった。

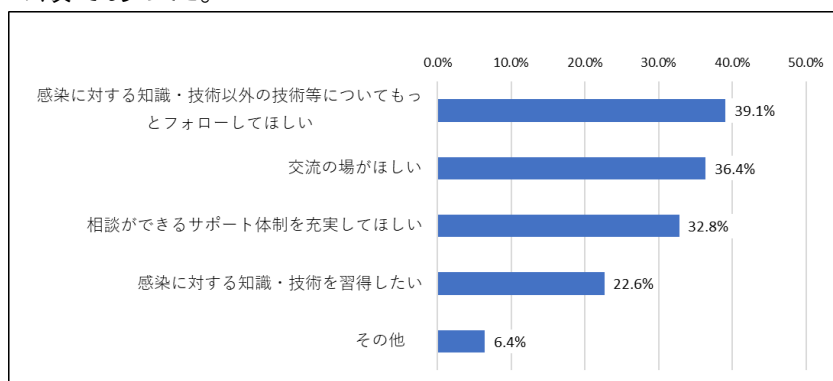


図5 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること